

高校生ボランティア養成講座始まる

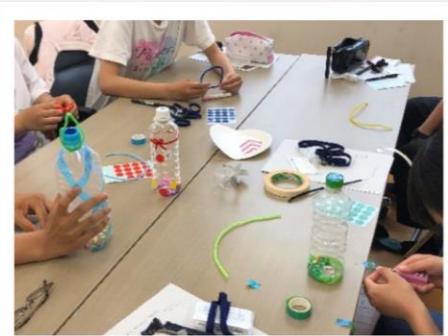
5月26日（日）の開講式をスタートとして、本年度も第1回の高校生ボランティア養成講座が始まりました。今年度は和歌山市内の4つの高校から20名の申し込みがありました。高校生ボランティア養成講座の目的は、①本校の児童生徒が休みの時に、「もの作りや」や「体験活動」「鑑賞会」等を通じて、高校生と交流する。②高校生のボランティア活動の一助とするとともに、障害者理解啓発の場とする。③社会教育施設等と連携することです。

第1回は高校生17名が参加して、開講式を実施し、自己紹介、日程や内容、障害の理解についての学習会等を行いました。また後半では、6月9日（日）の第2回のわくわくウィークエンドクラブ「音楽を楽しもう」で使う手作り楽器の製作をグループに分かれて取り組みました。それぞれがアイデアを出し合いながらペットボトルを使って音の出る手作り楽器を完成させました。

最後のアンケートでは、受講の動機として、「ボランティアに興味があった」「いろいろな関りや体験を通して将来に活かしたい」等の感想がありました。

今後予定されている「埴輪づくり」や「勾玉づくり」、「クリスマス会」を通して、本校の児童生徒と高校生が互いに理解が深まり、しっかりとコミュニケーションをとりながら楽しい時間を創る、そんな活動につながる場になればと考えています。

また、高校生にとってボランティア講座を通して、障害者理解やボランティアの気持ちを高め、本校とのつながりを、より一層高めていってほしいと願っています。



居住地校交流説明会

5月23日（木）本校に小学校の先生に来ていただき、居住地校交流説明会を行いました。

前半の概要説明には8校、後半の担任同士の打ち合わせには18の小学校の参加がありました。居住地校交流とは、本校小学部に通っている児童が、本人や保護者の希望がある場合に、住んでいる地域の小学校の支援学級や同じ学年のクラスと一緒に授業を受けたり、小学校の作品展に出展したりして、地域の児童と交流を図るというものです。

居住地校交流を通して、お互いに助け合い、支えあって生きていくことを学ぶ機会となり共生社会の実現につながるという大きな目標を持って取り組んでいきたいと思ひます。

